

講演：「外国語学習とコミュニケーションの情意的側面」

八島智子 先生(関西大学外国語学部・外国語教育学研究科教授)

研究会後半は八島智子先生のご講演で、先生が長年取り組んでいらっしゃる動機づけとアイデンティティ、コミュニケーションへの積極性 (Willingness to Communicate, WTC) と国際的志向性についてお話いただきました。

アメリカ留学を体験した学生や国際ボランティアに参加した学生を対象にされた研究を例に、自分の存在証明のために喋ることが必要な国や場面に身を置いたとき、日本の学生は協調して真面目に活動に参加するものの、意思決定に参加できていなかったという結果に至ったお話をしてくださいました。

先生が強調していらしたことは、たとえ目標言語を話す国に留学しても話す機会は自ら作さなければならないのが現実。だから、教える側は、教室活動の中で意識的に Voice を作り出す仕掛けをする必要があるということでした。その必要性を物語るものとして、あるイギリスの研究者が日本の大学の授業を対象に行った研究を紹介されました。それは、48 時間録画し、1 分毎にそのときの活動のログを取るというもので、学生が自ら開始したコミュニケーションは 48 時間中わずか 7 分だったというものでした。わずか 0.24% という数字には一同驚きを隠せませんでした。その後、こういった状況を改善するために先生が実践された授業デザインや学生の声を一つ一つ丁寧に紹介してくださり、最後に WTC モデルに基づいた授業を考える時、教える側が学習者を理解することが肝要だという言葉で講演を終えられました。

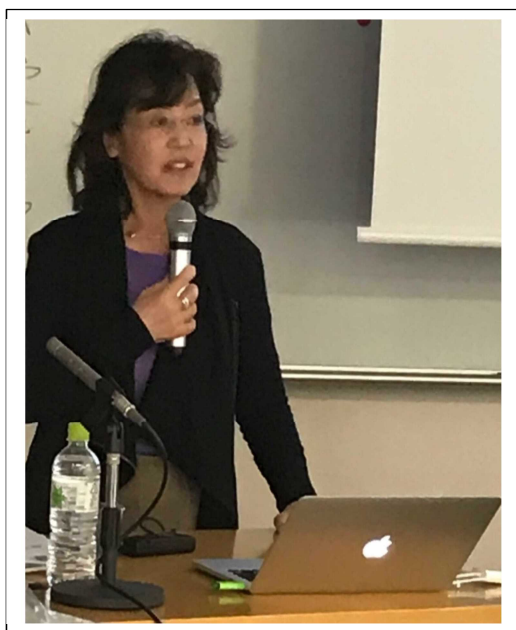
今回は質疑応答の時間に余裕があったことから、フロアから様々な質問や事例紹介があり、(話さないけれども書くレスポンスは早い学生の例、各言語独特の表現の習得 WTC との関係、L2 を話すことで発見する自分はどんな自分? L1 の自分と同じ? 全く違う自分?) 有意義な時間となりました。

やり取りの中で、八島先生は「人とコミュニケーションしようという気持ちを育てることが大切なのではないかと思います」とおっしゃっていましたが、人間関係が希薄になり固定化されつつある現代社会において外国語教育が果たすべき一つの役割りのように感じました。

《おまけ》

懇親会は先生と役員のみというこぢんまりした会でしたが、八島先生を囲んで楽しい一時を過ごしました。話の中で、外教の先生方には音楽に造詣が深い方が多いことが判明しました。外教コンサートの開催も夢ではないかもしれません。

(文責: 戎妙子)



<八島先生>



<質疑応答でのやりとりに集中するフロア>

学会からのお知らせ

幹事長が交代しました。

長年、幹事長として当学会を牽引してくれた神道さんから山中さんに学会運営のバトンが引き継がれました。

「幹事長交代のご挨拶 ―齋藤榮二先生の思い出とともに―」

昨年、思いがけなくも、本学会名誉会長であられた齋藤榮二先生の訃報に接しました。言葉にし難い寂寞を感じます。齋藤先生が英語教育界において多大な功績を残されたことは、今さら申し上げるまでもございません。

本学会は、外国語教育学研究科から初の修了生を送り出そうとする年に、齋藤先生のご尽力によって産声を上げました。学生たちを我が子のように慈しみ、教え、育ててくださったように、先生はまた本学会に常に目をかけ、大切に育て、教え導いてくださったのです。先生のご在任中、本学会行事において、お姿をお見かけしなかったことは一度もありませんでした。

9年前の3月11日、その日は第5回研究大会の前日準備をしておりました。午後の日差しがやや傾き始めた頃、尚文館から見上げた空が、なぜか異様なピンク色に見えたことを覚えています。それから間もなく、東北地方で大きな地震と津波が発生したというニュースが飛び込んできました。まだ、どれほどの被害状況なのかは把握できておらず、情報が錯綜する中で、翌12日は予定通り研究大会が開催されました。当時、研究大会委員であった私は、齋藤先生が福島県のご出身だということその日初めて知りました。いつもと変わらず会場に姿を見せてくださった先生は、ご家族との連絡が取れない中、教え子たちの発表を見届けてから、ご実家に向かわれたのです。

英語教育専攻の学生のみならず、中国語教育専攻の私にも、いつも分け隔てなく心を配り、時にからかいながら、温かく見守ってくださった齋藤先生の笑顔は、今も心に焼き付いております。

さて、本学会幹事長を務めさせていただいて、早や6年が経ちました。その間に、外国語教育をめぐる環境はめまぐるしく変化しています。MOOC革命に始まり、スマートフォンの普及、新学習指導要領の告示、アクティブ・ラーニングの推進、そして、機械翻訳の発達…。学会活動では、その時々求められる情報に耳をそばだてながら、「新時代の外国語教育」を追い求めて参りました。今、その歩みを振り返ってみると、齋藤先生が身をもって教えてくださったのは、時代を経ても決して変わることはない「教育」の姿だったと確信いたします。

時代は平成から令和へと移り、この度、幹事長を山中由香氏に引き継がせていただくことになりました。新しい時代の幕開けに、新幹事長をお迎えできることを心から嬉しく思います。本学会は、人にたとえるとようやく高校生になったばかりですが、齋藤先生の教えを継承しつつ、新体制のもと、ますます力強く豊かに育ちますことを願ってやみません。山中さん、どうかよろしく願いいたします。

最後になりましたが、いつも学会運営に多大なご理解とご協力を賜りました学会顧問の竹内理先生、吉田信介会長、諸先生方、そして微力な幹事長を支え、明るく励ましてくださった役員の方々が、本当にありがとうございました。皆さまのお力添えがあってこそ、幹事長を務めさせていただきましたこと、心よりお礼申し上げます。そして、今後とも何卒よろしく願い申し上げます。

求学如逆水行舟，不进则退！

2020年3月18日
神道美映子

2020年度の役員は以下の通りです。

| 役職 | 役員 |
|-----------|---|
| 顧問（学会） | 竹内 理研究科長・学部長・教授 |
| 顧問（総務委員会） | 守崎 誠一研究科学務委員長・副学部長・教授 |
| 顧問（紀要委員会） | 池田 真生子研究科教学主任・教授 |
| 会長 | 吉田 信介教授（英語） |
| 財務委員長 | *名部井 敏代教授（英語） |
| 監査 | 沈 国威教授（中国語） |
| | 今井 裕之副学部長・教授（英語） |
| 幹事長 | 山中 由香（英語） |
| 総務委員会 | *近藤 睦美（英語） 楊 馳（中国語） 野村 正樹（英語） |
| 財務委員会 | 岩田 弥生（中国語） 神道 美映子（中国語） |
| 研究大会委員会 | *竹田 里香（英語） 上野 舞斗（英語） 浜谷 佐和子（英語） |
| 広報通信委員会 | *戎 妙子（日本語） 山本 祐太（IT）（英語） |
| 紀要委員会 | *尹 惠彦（朝鮮語・日本語） 川光 大介（英語） |

（*委員長）

<編集後記>

11月開催の秋の研究会は、在学中の院生が中心になって企画運営をしてくださいました。フレッシュなメンバーが入り、外教学会の活動が今後益々活発になる予感がします。

一緒に活動して下さる方がいらしたら、いつでも **Welcome** ですので、どんどん参加してください。